

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																			
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日		田中 正吉		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																			
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		理事長 青山 織人		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																		
商業実務	商業実務専門課程	ペットライフケア学科				平成23年文部省 告示第167号	-																																		
学科の目的	ペットライフケア学科では、日本ビジネススクール協会認定のトリマー検定および全国動物専門学校協会認定サロントリマー検定の実施を筆頭に、動物に関する各種資格取得を目標とし、実習を中心に人と動物の関わりに関連するあらゆる知識と技術を身につける。また、コンピュータ操作やビジネスコミュニケーション能力の習得にも努め、ペット業界のスペシャリストを育成するとともに良識のある社会人を目指す。																																								
認定年月日	平成23年12月22日																																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																		
2年	昼間	62	15	7	51	-	-																																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数		兼任教員数		総教員数																																		
60人	51人	0人	2人		2人		4人																																		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																																			
長期休み	■学年始: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月29日～8月25日 ■冬季: 12月22日～1月6日 ■学年末: 2月28日～3月31日				卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 62単位以上取得																																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)				課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、ドッグショー見学 ペット業界見学会(年1回)、学科研修旅行 ■サークル活動: 有																																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) ペットショップ、動物病院、ペット美容室等 ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職ラリーの実施、企業情報提供、企業人・卒業生の講演など。 ■卒業者数 : 20 人 ■就職希望者数 : 19 人 ■就職者数 : 18 人 ■就職率 : 95 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93 % ■その他 ・進学者数: 0人				主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリマー検定1級</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>サロントリマー検定2級</td> <td>③</td> <td>27人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士1級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>27人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	トリマー検定1級	③	18人	18人	サロントリマー検定2級	③	27人	26人	愛玩動物飼養管理士1級	③	5人	4人	愛玩動物飼養管理士2級	③	27人	26人												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																						
トリマー検定1級	③	18人	18人																																						
サロントリマー検定2級	③	27人	26人																																						
愛玩動物飼養管理士1級	③	5人	4人																																						
愛玩動物飼養管理士2級	③	27人	26人																																						
※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																									
(令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																																									

<p>中途退学 の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 8%</p> <p>令和2年4月1日時点において、在学者51名（令和2年4月1日入学者を含む） 令和3年3月31日時点において、在学者47名（令和3年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 病気療養、学校不適応、進路変更</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金制度： 有 特待生制度(学業優秀者への奨学金給付制度 入学時及び2年進学时) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 学費分納制度</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>URL : <a href="http://www.mirai.ac.jp/mit">http://www.mirai.ac.jp/mit</a></p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ペットライフケア学科に在籍する学生の主たる就業先であるペット業界において、学科の主たる目標であるトリマー職に求められる技術や知識だけでなく、トリミング技術以外に必要な知識や心得など、現場が期待する総合的な人材像を把握することは実践的な人材育成のために不可欠である。また、飼育や販売などトリマー職以外に就く学生もいることから、これらの職種に就くために有用な知識や技能ならびに人材像を把握することも同様に不可欠である。これらの職業に向けた人材育成のための授業方法や最適な科目構成を検討し改善するために、教育課程編成委員会を設置し、これを活用して業界企業等からの要請や最新動向などを学科の教育活動に十分に取り入れることを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、必要に応じて当該学科の「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
田中 利幸	一般社団法人 国際家庭犬トレーニング協会 東海支部支部長	平成30年10月1日～令和2年9月30日(2年)	①
小野 キミ子	Wonder House 経営者	平成30年10月1日～令和2年9月30日(2年)	③
北村 理恵子	Dog Life Lien 経営者 長野県動物愛護推進員	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	③
腰原 亜希	Kファームクリニック 獣医師	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	②
福澤 美雪	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 学部長		
岡野 剛	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		
小山 真央	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		
本橋 知果	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (2月、9月)

(開催日時(実績))

- 第1回 平成26年 9月 6日 16:00～17:15
- 第2回 平成26年10月 8日 15:00～16:00
- 第3回 平成27年 2月19日 15:10～16:30
- 第4回 平成27年 9月 9日 12:40～15:00
- 第5回 平成28年 2月18日 16:00～17:00
- 第6回 平成28年10月 5日 14:00～15:00
- 第7回 平成29年 2月23日 16:00～17:00
- 第8回 平成29年10月 4日 14:00～15:00
- 第9回 平成30年 2月21日 16:00～17:00
- 第10回 平成30年10月 3日 15:30～16:30
- 第11回 平成31年 2月28日 16:00～17:00
- 第12回 令和1年10月 8日 16:00～17:00
- 第13回 令和2年 2月21日 16:00～17:00
- 第14回 令和2年 9月24日 11:00～12:00
- 第15回 令和3年 2月25日 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

検討事項であった「同学部他学科の専任講師による試験対策時間を設ける協力体制を検討」について、今年度は効果的な試験対策を実施することができ、愛玩動物飼養管理士2級検定における合格率を96%まで、大幅に上昇させた。令和3年度の教育課程は、動物飼育・トレーニング専攻開始により、学生ニーズに合わせ科目をさらに選択できるように変更した。

トリミング実習、グルーミング実習については、今後常勤を主体として小林先生メインに新体制で行うこととなる。

新しい実習計画として、

- ・サロンの一日を基にしながらも、授業時間を意識した区切りのある実習とする
- ・掃除については班ごとに当番制で行うことを新たに導入する
- ・可能な限り、学生一人につき犬を一頭担当することを目標とすることなどが提案され、それらについては今後、検討実施していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・職業団体等が講師契約、または、施設実習協定を締結し、その連携のもと、ペット美容室、ペットショップ業界、あるいはトリミング併設の動物病院の人材育成ニーズに沿った実践教育の機会を提供する。さらにトリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物業界演習	動物業界で様々な生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識を身に着ける。 犬を中心とした、細胞・組織・各臓器の形態や機能を理解するとともに、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する、さらに動物医療におけるトリマーの役割を理解することを目的に、学生に対し実践的な演習授業を行う。	Kファーム・クリニック
動物美容学演習 I	グルーマー(トリマー)としての心構え、ペット美容に関する基礎知識と技術を習得し、実習授業に活かす。 グルーミング概論・各論、グルーミングにおける専門用語理解、被毛・皮膚とその健康状態、ペイジング・ドライイング、プードルのペットクリップ・ショークリップ等について、演習授業を行う。	ドッグサロン&ドッグスクール Dog Life Lien

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。

「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」

ペットライフケア学科においては、最新の業界動向からのかい離や知識・技術の陳腐化を防ぐため、トリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職に必要とされる実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」

(連携企業等:一般社団法人 全国動物専門学校協会)

期間:令和2年6月25日(木) 対象:一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校

内容:2020年度事業計画 動物系専門学校におけるコロナウイルス感染症への対応について

研修名「WJVF 第11回大会」

(連携企業等:公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)

期間:令和2年7月23日(木)～令和2年8月9日(日) 対象:獣医師・動物看護師・トリマー・一般

内容: オンライン配信。獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース ビデオ検討会」

(連携企業等:日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター 養成スタッフ)

期間:ビデオ検討会:令和2年12月12日(土曜日)12:00-18:00 カリキュラム検討:12月17日(木曜日)20:15-20:45

対象:家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース受講者

内容:遠隔にて受講。実際に行ったしつけ教室について、運営や指導法について検討、またしつけ教室のカリキュラムについて指導をいただいた。

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース 受講生限定オンライン勉強会」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和2年6月20日(土) 対象:家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース 受講生

内容:インストラクターを目指す勉強の中での疑問、トレーニングでうまくいかないこと、今抱えている問題への解決のヒントを掴む。

研修名「矢崎潤先生の「犬種特性セミナー～犬種に合わせたしつけのポイント」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和3年3月28日(日) 対象:家庭犬しつけ方講座受講生 その他一般

内容:「犬種」にあわせたしつけ、教え方のポイント、飼い主の悩みの傾向やその対処法、問題行動の予防、学ぶ速度や教え方のポイント

研修名「高山美佐先生の「インストラクターのためのドッグダンスセミナー」

(連携企業等:DOG PARK Online)

期間:令和3年1月11日(日) 対象:家庭犬しつけ方講座受講生 インストラクター その他一般

内容:ドッグダンスと誘導 ドッグダンスの細かな動きを作っていく際に必要な丁寧で正確な「誘導」について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

予定していた研修については、コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「高山美佐先生の「インストラクターのためのドッグダンスセミナー第2弾！」  
(連携企業等: DOGPARK Online)  
期間: 令和3年4月4日(日) 対象: 家庭犬しつけ方講座受講生 インストラクター その他一般  
内容: 高山美佐先生の「ドッグダンスセミナー第2弾！」  
初級のダンスルーティンとターゲットトレーニングについて学ぶ。ドッグダンスで使われるポジションや動作、トリックを「ターゲット」で教える方法、ステップアップの方法を学ぶ。

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」  
(連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会)  
期間: 令和3年5月25日(火) 16時00分 ~ 16時50分  
対象: 一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校  
内容: 未発表

研修名「WJVF 第12回大会」  
(連携企業等: 公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)  
期間: 令和3年7月9日(金) ~ 8月15日(日) 対象: 獣医師・動物看護師・トリマー・一般  
内容: オンライン配信。獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「第23回日本臨床獣医学フォーラム」  
(連携企業等: 公益社団法人東京都獣医師会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)  
期間: 令和3年9月24日(金)25日(土)26日(日) 予定(調整中) 対象: 獣医・動物看護師・一般  
内容: 未発表

研修名「日本動物病院協会(JAHA)家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース ビデオ検討会」  
(連携企業等: 公益社団法人 日本動物病院協会)  
期間: 未定 対象: 家庭犬しつけ方講座 インストラクター養成コース受講者  
内容: 未定

研修名「ペット栄養管理士認定試験」(連携企業等: 日本ペット栄養学会)  
期間: 未定 対象: ペット栄養管理士認定試験受験者  
内容: ペット栄養管理士認定試験

研修名「令和3年度動物取扱責任者研修会」(連携企業等: 松本市保健所 )  
期間: 未定 対象: 動物取扱責任者資格所有者  
内容: 動物の愛護及び管理に関する法律等変更点や動物の感染症等についての注意喚起。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「個人情報保護」 (連携企業等: 一般社団法人 セーフティネット総合研究所 )  
期間: 未定 対象: 専門学校未来ビジネスカレッジ教職員  
内容: SNSの危険性とその留意点 一般社団法人 セーフティネット総合研究所 専務理事 南澤信之先生

研修名「全国動物専門学校協会 教職員研修会」(連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会 )  
期間: 未定 対象: 全国動物専門学校協会加盟校講師  
内容: 未発表

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	特に記載なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・保護者対象の説明会の継続を求める声をいただいた。これを受けて本年度も新入生保護者対象の学校説明会の継続と連携の強化を目標に掲げた。しかし、本年度は新型コロナ感染拡大の影響で保護者対象説明会を夏期にいったん延期したものの、収束の兆しがなくまま開催のメドは立たず、やむを得ず年末年始に学校ホームページ上でオンデマンド方式のWEB説明会を実施した。保護者連絡網の構築など、さらなる連携強化は今後の課題となったままである。
- ・各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘いただいた。これを受けて本年度は規程の不備を洗い直し、必要なマニュアルの整備に向けて踏み出すことを目標に掲げた。しかし本年度は新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言を受けて休校に踏み切ったため、不足分のカリキュラム補てんに学校全体のパワーをシフトした影響で質保証に関わる各種の活動が制限されてしまった。この課題は次年度以降に繰り越さなければならない。
- ・教育の質保証のために授業評価は必須であるので必ず実施するようアドバイスいただいた。これを受けて本年度は学生による授業評価の結果により対象科目を絞り、授業参観などのチェック体制を順次構築していく計画であった。しかし、これも前項と同様の理由により今年度取り組むことはできず、次年度以降に繰り越す課題となった。
- ・学修成果としての各種試験合格率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について改めてご指摘いただいた。これらの点について本年度も引き続き学校全体で努力を行い、一定の成果と社会からの評価をいただくことができた。
- ・卒業生への支援が手薄であるため検討が必要であるご指摘いただいた。これを受けて本年度は卒業生支援に関する研究を始める予定であった。しかし、前々項と同様の理由により、次年度以降への繰り越しとなる。
- ・学習支援制度の無償ならびに給付型学生の募集開始にあたり、募集定員の見直しを計るべき段階に来たのではというご意見をいただいた。このため、本年度は各学科の募集定員を募集の実態に照らして見直しを計り、理事会にて学則変更を決議し届出を行った。
- ・教育の質保証のため教職員評価をしっかりと行うため評価基準・規程の整備を行うべきではないかとご指摘いただいた。これを受けて本年度から査定や評価の仕組みについて検討開始する方向であった。しかし、この課題も新型コロナ対策の影響を受け、次年度以降への繰り越しとなった。



(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 店長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 代表	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 令和3年5月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後実施後に公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

授業科目等の概要

(商業専門課程ペットライフケア学科 令和3年度)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		情報リテラシー	パソコンOSの基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されているOffice系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする	1通・2前	90	3			○	○		○		
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する	1・2通	90	3	○			○		○		
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	2前	30	1	○			○		○		
	○		総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○		○		
○			犬種概論	様々な犬種についての知見を広める。様々な犬種の歴史や、スタンダードについて、幅広く学ぶ。	1前	30	1	○			○		○		
○			動物業界演習	生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識である、主に犬の細胞・組織・各臓器の形態や機能、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する。	1後	30	1		○	○	○			○	○
	○		動物美容学	トリマーとしての心構え。ペット美容に関する基礎知識、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全にグルーミングを行うためのルールなどを学ぶ。	1・2通	120	4		○		○		○		
○			グルーミング実習	犬の扱い、道具の扱い、掃除、接客方法などの基礎技術の習得。犬のグルーミングにおける基本ケア、トリミングについては部分カットの基礎知識と技術の習得。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術の習得。	1通	240	8			○	○		○		
○			上級グルーミング実習	グルーミング実習で習得した、犬の扱い、道具の扱い、部分カット法、接客方法等を基礎として、犬のグルーミングにおけるそれらの工程を一人で、安全かつ確実に遂行する。サロントリマー3級の受験を目指す。	2通	240	8			○	○		○		
	○		動物美容実習	部分カットおよび、全身カットの技術を習得する。また接客の基礎、受付から引き渡しまでのすべての工程について必要な知識と技術の習得を目指す。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術を習得する。	1通	240	8			○	○		○		

○		上級動物美容実習	全身カットの技術を向上させ、受付から引き渡しまでのすべての工程をひとりで完璧にこなせることを目指す。サロントリマー検定1級の合格を目標にグルーミング・トリミングの総まとめを行う。	2通	240	8				○	○	○						
○		動物福祉倫理	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。動物福祉の基盤となる5つの自由について理解する。	1前	30	1	○				○							○
○		伴侶動物学	犬と猫の起源や歴史、犬や猫の健康管理について、ライフステージごとの特徴や注意点、人獣共通感染症および主な感染症、ワクチンや予防獣医療等について学ぶ。	1通	60	2	○				○							○
○		動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学ぶ。獣医療現場、公衆衛生、環境関連の動物医療関連法規(獣医師法、獣医療法、動物愛護及び管理に関する法律、ペットフード安全法、身体障害者補助犬法、狂犬病予防法、家畜伝染病予防法、薬事法、食品衛生法など)について理解を深める。	1前	30	1	○				○							○
○		動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。また、正しいハンドリングに必要な学習理論を学ぶ。	1通	60	2	○				○							○
○		動物人間関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。	2前	30	1	○				○							○
○		動物疾病学	疾病の原因・症状・各種検査・治療・また予防について理解する。また、動物の健康管理・クライアントへのアドバイス・日常の身体観察において、それらの知識をトリマーとしてどのように活かすかを学ぶ。	2通	60	2	○				○							○
○		ハズバンドリー実習Ⅰ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1前	30	1					○	○						○
○		ハズバンドリー実習Ⅱ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1後	30	1					○	○						○
○		コンパニオンアニマルケア実習	基本的な保定法(駆血等を含む)、身体検査や尿検査、一般性状検査、皮膚検査など簡易的な検査及び検体の取り扱いを習得する。	1・2通	90	3					○	○						○
○		動物飼育管理学	愛玩動物およびエキゾチック動物、産業動物、野生動物の飼育管理について学ぶ。食事管理、飼育管理法、動物種による行動の違いを理解し、環境エンリッチメントとうについて習得する。	1後・2前	60	2	○				○							○

○	動物栄養学	愛玩動物およびエキゾチック動物の学が。成長段階に合わせた適正な食事、フードに関する知識、必須の栄養素、肥満予防について栄養学の基礎を学ぶ。	1 後	30	1	○	○	○										
○	産業動物学・ 実験動物学	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。 実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ。	2 通	60	2	○	○	○										
○	ドッグトレー ニング基礎	行動学に基づいたトレーニング法に関し知識を習得し、実践する。しつけの必要性、条件付けなどの学習理論を学び、動物がどのように学習するのか、『学習の起こる仕組み』を理解し、実践する。	1 通	240	8		○	○	○	○								
○	ドッグトレー ニング応用	ドッグトレーニング基礎で習得した知識と技術を更に向上させる。問題行動への対処、飼い主へのカウンセリング法、トレーナーとしての技術向上を目的とする。また技術習得の成果として、JAHA家庭犬しつけマナーチャレンジ初級合格を目指す。	2 通	240	8		○	○	○	○								
○	動物業界研 究	動物業界における様々な事柄について調査・研究もしくは現場の実習を通して、今後の業界の役割、動物と人との関係を理解し、自己のあり方を考える。	2 前	30	1	△	○	○	○	○								
○	学外実習	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることによって今後の学習目標および重点学習項目をより実戦的に捉えなおす機会とする。	1・ 2 通	90	3		○	○	○	○								
○	総合実習	内定先のペットショップ、美容室等より提示された課題に取り組む。現場で実習を行って課題を達成することをもって、卒業研究に代える。	2 通	150	5	△	○	○	○	○								
○	卒業研究・制 作	2年間の学習の集大成として、習得カリキュラムに関連したテーマを選び、論文作成あるいは制作を行い、プレゼンテーションを実施する。	2 後	150	5	△	○	○	○	○								
合計				29	科目	1860単位時間( 62 単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得 履修方法：【必修科目】23単位、【選択必修科目】41単位 単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。